



クライアント識別コード

Client Matter Code (CMC; クライアント識別コード) は、課金可能なクライアントに対するコール アカウンティングと課金を支援します。CMC を有効にすると、コールが特定のクライアントに関連していることを示すコードをユーザが入力する必要があります。コール アカウンティングと課金の目的で、顧客、学生などのユーザにクライアント識別コードを割り当てることができます。

CMC 機能を使用するには、ルート パターンを変更し、ダイヤル プラントキュメントを更新して各ルートパターンに対する CMC の有効化または無効化を反映させる必要があります。クライアント識別コードの検索ウィンドウおよび設定ウィンドウには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [コールルーティング (Call Routing)] > [CMC] からアクセスできます。

クライアント識別コードの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[クライアント識別コードと強制承認コード](#)」を参照してください。

参考資料

- 『Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration ガイド』
- 『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』

